

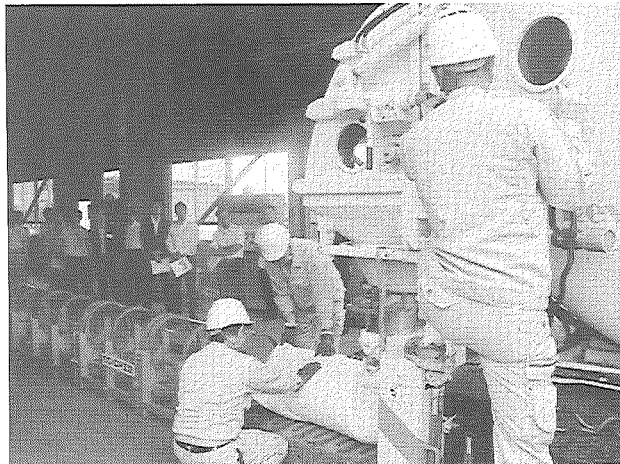
施工技術を研鑽

3S I C P協 技術交流会 反転更生の実演も

3S I C P技術協会（小島秀重会長）は9月3、4日の2日間、滋賀県内で技術交流会を開いた。協会員間での情報交換を通じ、施工技能の研鑽を促すため、協会本部

のHPから参加申込みをし、郵送、メール、送付。申込書送付後、参加券が返送される。10日まで。当日受可能。参加費1一般会（非会員）2万5000円（非会員）2万5000円。官公庁・教育機関1万5000円。学生会員・非会員と1000円。問合せ：I.C.A. Jp. 0909-94106（株）

が定例的に企画しているもの。会に先立ち、小島会長があいさつ。「施工者の皆さまには責務として、



反転更生デモを実施

技術交流会では初日に座学で、協会側から新技術の発表、会員側から施工現場事例の紹介を行った。3Sセグメント工法の施工体験発表では、日本ヒュームが横浜市山大口径幹線工事を、環境開発が大口径馬蹄きよ更生工事を、湘南合成樹脂製作所が山岳トンネル適用事例を紹介。それぞれ既設管の事前調査を行う際のポイントから、施工区間の確保に向けた関連部署との調整、モルタル打設計画上の創意工夫、徹底した安全管理対策などを講義した。協会報告では、3Sセグメント工法の適用範囲を最大呼び径3000mmに拡大したほか、水深30%以下かつ50m以下、充填材強度の見直しなどが25年度審査証明で新たに追加されたと解説した。

プロシエクトを設置し、一貫リサイクルシステムは、世界トップ水準の本格システムとしたい文句の通り、塩ビ管リサイ

SGICP工法の施工体験発表では、日本ヒュームが電力管路（小口径鋳鉄管）における特殊入



行われた。

孔内での施工事例を、湘南合成樹脂製作所が施工延長200m超の農業パイプライン反転更生事例を紹介した。

2日目は、近江美研のSGICP工法用更生材工場を視察。含浸工程から専用反転施工機の見学、模擬管を用いたデモ施工に立ち会おうなど、工法への理解を深めた。

夏季講座で 松原氏が講演

水コン協関西支部

全国上下水道コンサル タント協会関西支部（北



北支部長



松原管理監